

午後一時二十一分開議

○伊達参議院議長 皆さん、お忙しいところをお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。

それでは、まず、大島議長から説明をお願いしたいと思えます。

○大島衆議院議長 先般、天皇陛下の退位等についての立法院の対応に関し、まず、総理から、私どもに次のような発言がございました。

先般、天皇陛下の退位等についての立法院の対応に関し、議論の進め方について各党の了承が得られたことに改めて感謝を申し上げます、既に各党におかれては議論を進めていただいているところでありますが、昨日、政府の有識者会議において論点整理が取りまとめられたことを受け、本日、総理から、立法院における議論の参考としていただければありがたい、そのため、論点整理の内容を政府から説明させていただく場を設けていただければ幸いであるとの趣旨で、有識者会議における議論の報告があったところでございます。

私からは、それは承りました、したがって、各党の意見を聴取するその前に、各会派にこのことをお伝えし、この問題は慎重の上にも迅速な対応が求められることを踏まえ、静ひつな環境のもとで節度ある真摯な議論を行い、国民の期待に応えることが肝要と考える、今後、立法院として、国民の総意を探るために、各政党各会派から個別に意見を聴取し、総意形成に向けて協議を行い、三月上旬中甸を目前にその取りまとめに努力したいと考えています、政府におかれては、その総意を十

分に尊重されることを強く望むものである、立法院として、その矜持を持って引き続き対応してまいりたいということを返事としてさせていただきます。

そういうことに対して、総理としては、立法院の総意に対しては、当然に尊重し、考えていかなければならないということもお話しされました。

総理から説明の場をとということでのお願いもございましたので、大変恐縮でございますが、明日五時から各党の実務総責任者あるいは幹事長さんにお集まりいただいて、お忙しい先生方ばかりでございまして、恐縮至極でございますけれども、五時から行いたい、このようなことを御提言させていただきます。

以上、御報告させていただきます。

○伊達参議院議長 ありがとうございます。ただいま大島議長からお話ございましたように、論点整理につきましては、政府からの説明聴取をあす二十五日水曜日五時より行いたいということで、我々四者でも了解をしたところでございます。

あわせて、その際、各党各会派の幹事長さん、実務責任者も一緒に御出席をお願いしたいということでございますので、よろしくお願いを申し上げます。

また、先般十九日に、二月中旬以降に各政党各会派の御意見を伺いたいということでお話をさせていただきますました。引き続き、各党各会派におきましては議論を進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

以上でございます。

何か皆さん方から御質問があれば。

○野田佳彦君 あしたの説明者はどういう方なんでしょうか。

○大島衆議院議長 官房長官が出席し、その具体的な内容等は山崎さんがおいでになると思います。それで、その説明の後、さらに各党各会派で、ここはどうなっている、ああなっているという、これをきようお持ち帰りいただいて勉強した上でお聞きになりたいときは、あした、政府は、そのときはこの窓口で御連絡くださいということを申し上げます。

だから、各会派ごとに、まずは勉強のために何か御説明が必要であれば、その部屋の窓口で御連絡いただければ出向いて御説明をさせていただきますというふうなことで一応申し上げておきました。

○野田佳彦君 あした、その場で説明を求めるところもできるんですよ、官房長官の周りに誰かついていらつしやつて。

○大島衆議院議長 もちろん、そこでの質問はそれを拒否するものではございませんが、多分、五時からでございますからちよつと長くなると思いますので、その辺は節度を持ってひとつお願いしたいなという思いでございます。

あしたの仕切りは全部伊達議長がやりますので、どうぞよろしく。

○伊達参議院議長 よろしゅうございますでしょうか。

○又市征治君 場所はどこですか。ここですか。

○大島衆議院議長 基本的にここでやろうかと思

っております。申しわけございません、皆さん、お忙しい中。

○伊達参議院議長 それでは、衆議院さんは本会議もあるようでございますので。

では、明日、またよろしくお願いをしたいと思います。

ありがとうございます。お忙しいところ済みません。

○大島衆議院議長 どうぞよろしく申し上げます。

あしたは人数は四人以内で、各会派の一番の、中身を詰める方々に。幹事長さん方がお忙しければあれですが、よろしくお願いしたいと思います。

午後一時二十八分散会